

次期生物多様性国家戦略の構成(案)

< 生物多様性国家戦略2010 >

前文

- ・生物多様性条約と国家戦略
- ・生物多様性基本法の制定・施行
- ・これまでの生物多様性国家戦略
- ・生物多様性国家戦略2010策定の経緯
- ・生物多様性国家戦略2010の性格、役割
- ・各主体の役割
- ・実施状況の点検と見直し

第1部 生物多様性の保全及び持続可能な利用に向けた戦略

第1章 生物多様性の重要性と理念

第1節 地球上の生命の多様性

- 1 地球のなりたちと生命の誕生
- 2 大絶滅と人間の活動
- 3 生物多様性とは何か

第2節 いのちと暮らしを支える生物多様性

- 1 生きものがうみだす大気と水
- 2 暮らしの基礎
- 3 生きものと文化の多様性
- 4 自然に守られる私たちの暮らし

第3節 生物多様性の保全及び持続可能な利用の理念

- 1 「すべての生命が存立する基盤を整える」
- 2 「人間にとって有用な価値を持つ」
- 3 「豊かな文化の根源となる」
- 4 「将来にわたる暮らしの安全性を保证する」

第2章 生物多様性の現状と課題

第1節 生物多様性の危機の構造

- 1 3つの危機
 - (1) 第1の危機(人間活動や開発による危機)
 - (2) 第2の危機(人間活動の縮小による危機)
 - (3) 第3の危機(人間により持ち込まれたものによる危機)
- 2 地球温暖化による危機

第2節 地球温暖化と生物多様性

- 1 地球温暖化による生物多様性への影響
- 2 地球温暖化による生物多様性の変化を通じた人間生活への影響
- 3 生物多様性の観点から見た地球温暖化の緩和と影響への適応

第3節 3つの危機の背景

- 1 戦後50年間の急激な開発
- 2 里地里山における人口減少と自然資源の利用の変化
- 3 経済・社会のグローバル化

第4節 生物多様性の現状

- 1 世界の生物多様性
- 2 日本の生物多様性
- 3 世界とつながる日本の生物多様性

第5節 生物多様性の保全及び持続可能な利用の状況

- 1 生物多様性の保全及び持続可能な利用に係る制度の概要
- 2 生物多様性の保全に資する地域指定制度の概要
- 3 地方公共団体による取組
- 4 企業による取組
- 5 NGOや市民による取組
- 6 学術団体・研究者による取組

第3章 生物多様性の保全及び持続可能な利用の目標

第1節 目標と評価

- 1 生物多様性条約2010年目標と次期世界目標
- 2 わが国の目標
- 3 わが国の生物多様性総合評価

第2節 生物多様性から見た国土のランドデザイン

- 1 生物多様性から見た国土のとらえ方
- 2 基本的な姿勢
- 3 国土の特性に応じたランドデザイン
 - (1) 奥山自然地域
 - (2) 里地里山・田園地域
 - (3) 都市地域
 - (4) 河川・湿原地域
 - (5) 沿岸域
 - (6) 海洋域
 - (7) 島嶼地域

第4章 生物多様性の保全及び持続可能な利用の基本方針

第1節 基本的視点

- 1 科学的認識と予防的順応的態度
- 2 地域重視と広域的な認識
- 3 連携と協働
- 4 社会経済的な仕組みの考慮
- 5 統合的な考え方と長期的な観点

第2節 基本戦略

- 1 生物多様性を社会に浸透させる
- 2 地域における人と自然の関係を再構築する
- 3 森・里・川・海のつながりを確保する
- 4 地球規模の視野を持って行動する

< 次期生物多様性国家戦略 > 名称については検討

前文

- ・生物多様性条約と国家戦略
- ・生物多様性条約第10回締約国会議の成果
- ・生物多様性国家戦略の見直しの背景と性格、役割
- ・実施状況の点検と見直し

第1部 生物多様性の保全及び持続可能な利用に向けた戦略

第1章 生物多様性の重要性と理念

第1節 生物多様性とは何か

- 1 地球のなりたちと生命の誕生
- 2 生物多様性とは何か

第2節 いのちと暮らしを支える生物多様性

- 1 生態系サービス - 生物多様性の恵み -
- 2 生物多様性と人間の活動

第3節 生物多様性の重要性

- 1 「すべての生命が存立する基盤を整える」
- 2 「人間にとって有用な価値を持つ」
- 3 「豊かな文化の根源となる」
- 4 「将来にわたる暮らしの安全性を保证する」

第2章 生物多様性の現状と課題

第1節 世界の生物多様性の現状と日本のつながり

- 1 COP10及びMOP5の成果概要
- 2 世界の生物多様性
- 3 世界的にみた日本の生物多様性の特徴
- 4 世界の生物多様性に支えられる日本

第2節 生物多様性の危機の構造

- 1 第1の危機(人間活動や開発による危機)
- 2 第2の危機(自然に対する働きかけの縮小による危機)
- 3 第3の危機(人間により持ち込まれたものによる危機)
- 4 第4の危機(地球環境の変化による危機)

第3節 わが国の生物多様性の現状

- 1 生物多様性総合評価
- 2 野生生物等の現状
- 3 生態系毎の現状
- 4 東日本大震災による生物多様性への影響

第4節 生物多様性の保全及び持続可能な利用の状況

- 1 生物多様性の保全及び持続可能な利用に係る制度の概要
- 2 生物多様性の保全に資する地域指定制度等の概要
- 3 野生動植物の保全に関する取組
- 4 国際的な取組
- 5 東日本大震災からの復興に向けた取組

第6節 生物多様性の保全と持続可能な利用に向けた課題

第3章 生物多様性の保全及び持続可能な利用の目標

第1節 わが国の目標

第2節 生物多様性から見た国土のランドデザイン

- 1 生物多様性から見た国土のとらえ方
- 2 基本的な姿勢
- 3 国土の特性に応じたランドデザイン
 - (1) 奥山自然地域
 - (2) 里地里山・田園地域
 - (3) 都市地域
 - (4) 河川・湿原地域
 - (5) 沿岸域
 - (6) 海洋域
 - (7) 島嶼地域

第4章 生物多様性の保全及び持続可能な利用の基本方針

第1節 基本的視点

- 1 科学的認識と予防的順応的態度
- 2 地域に即した取組と広域的な認識
- 3 連携と協働
- 4 社会経済的な仕組みの考慮
- 5 統合的な考え方と長期的な観点

第2節 基本戦略

- 1 生物多様性を社会に浸透させる
- 2 地域における人と自然の関係を再構築する
- 3 森・里・川・海のつながりを確保する
- 4 地球規模の視野を持って行動する
- 5 科学的基盤を強化する

第3節 各主体の連携と協働

第2部 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する行動計画

まえがき

第1章 国土空間的施策

(広域連携施策)

- 第1節 生態系ネットワーク
 - 1 生態系ネットワーク形成の推進
- 第2節 重要地域の保全
 - 1 自然環境保全法に基づく保全
 - 2 自然公園
 - 3 鳥獣保護区
 - 4 生息地等保護区
 - 5 名勝・天然記念物、文化的景観
 - 6 保護林、保安林
 - 7 特別緑地保全地区など
 - 8 ラムサール条約湿地
 - 9 世界遺産
 - 10 生物圏保存地域
 - 11 地域の自主的な管理区域
- 第3節 自然再生
 - 1 自然再生の着実な実施
 - 2 自然再生の新たな取組の推進
- 第4節 農林水産業
 - 1 農林水産業と生物多様性

(地域空間施策)

- 第5節 森林
 - 1 森林
- 第6節 田園地域・里地里山
 - 1 田園地域・里地里山
- 第7節 都市
 - 1 緑地の保全・再生・創出・管理に係る総合的な計画の策定
 - 2 緑地、水辺の保全・再生・創出・管理に係る諸施策の推進
 - 3 緑の保全・再生・創出・管理に係る普及啓発など
- 第8節 河川・湿原など
 - 1 生物の生息・生育環境の保全・再生
 - 2 水環境の改善
 - 3 住民との連携・協働
 - 4 河川を活用した環境教育や自然体験活動
 - 5 河川環境に関する調査研究
- 第9節 沿岸・海洋
 - 1 沿岸・海洋の生物多様性の総合的な保全
 - 2 里海・海洋における漁業
 - 3 海岸環境
 - 4 港湾環境
 - 5 海域汚染対策

第2章 横断的・基盤的施策

- 第1節 野生生物の保護と管理
 - 1 絶滅のおそれのある種の保存
 - 2 野生鳥獣の保護管理
 - 3 生態系を攪乱(かくらん)する要因への対応
 - 4 動物の愛護と適正な管理
- 第2節 遺伝資源などの持続可能な利用
 - 1 遺伝資源の利用と保存
 - 2 微生物資源の利用と保存
 - 3 バイオマス資源の利用
- 第3節 普及と実践
 - 1 普及広報と国民的参画
 - 2 経済的措置
 - 3 自然とのふれあい
 - 4 教育・学習
 - 5 人材の育成
- 第4節 国際的取組
 - 1 国際的リーダーシップの発揮及びアジアなど周辺諸国との連携
 - 2 生物多様性関連諸条約の実施
 - 3 国際的プログラムの実施
 - 4 開発途上国への協力
- 第5節 情報整備・技術開発
 - 1 生物多様性の総合評価
 - 2 調査・情報整備の推進
 - 3 研究・技術開発の推進
- 第6節 地球温暖化に対する取組
 - 1 生物多様性の観点から見た地球温暖化の緩和と影響への適応
- 第7節 循環型社会、低炭素社会の形成に向けた取組
 - 1 自然共生社会、循環型社会、低炭素社会の統合的な取組の推進
- 第8節 環境影響評価など
 - 1 環境影響評価
 - 2 環境影響の軽減に関するその他の主な取組

第3部 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する行動計画

まえがき

第1章 生物多様性の主流化に向けた取組の強化

- 第1節 普及と実践
 - 1 普及広報と国民的参画
 - 2 経済的措置
 - 3 自然とのふれあい
 - 4 教育・学習
 - 5 人材の育成

第2章 生物多様性保全と持続可能な利用の観点からみた国土の保全管理

(広域連携施策)

- 第1節 生態系ネットワーク
- 第2節 重要地域の保全
 - 1 自然環境保全地域など
 - 2 自然公園
 - 3 鳥獣保護区
 - 4 生息地等保護区
 - 5 名勝・天然記念物、文化的景観
 - 6 保護林、保安林
 - 7 特別緑地保全地区など
 - 8 ラムサール条約湿地
 - 9 世界遺産
 - 10 生物圏保存地域
 - 11 地域の自主的な管理区域
- 第3節 環境影響評価など
 - 1 環境影響評価
 - 2 環境影響の軽減に関するその他の主な取組
- 第4節 自然再生
 - 1 自然再生の着実な実施
 - 2 自然再生の新たな取組の推進

(地域空間施策)

- 第5節 森林
- 第6節 田園地域・里地里山
- 第7節 都市
 - 1 緑地の保全・再生・創出・管理に係る総合的な計画の策定
 - 2 緑地、水辺の保全・再生・創出・管理に係る諸施策の推進
 - 3 緑の保全・再生・創出・管理に係る普及啓発など
- 第8節 河川・湿原など
 - 1 生物の生息・生育環境の保全・再生
 - 2 水環境の改善
 - 3 住民との連携・協働
 - 4 河川を活用した環境教育や自然体験活動
 - 5 河川環境に関する調査研究
- 第9節 沿岸・海洋
 - 1 沿岸・海洋の生物多様性の総合的な保全
 - 2 里海・海洋における漁業
 - 3 海岸環境
 - 4 港湾環境
 - 5 海域汚染対策

第3章 野生生物の適切な保護管理と外来種対策の強化等

- 第1節 野生生物の適切な保護管理と外来種対策等
 - 1 絶滅のおそれのある種の保存
 - 2 野生鳥獣の保護管理
 - 3 生態系を攪乱する要因(外来種等)への対応
 - 4 動物の愛護と適正な管理

第4章 持続可能な利用

- 第1節 農林水産業
- 第2節 エコツーリズム
- 第3節 生物資源
 - 1 遺伝資源の利用と保存
 - 2 微生物資源の利用と保存
 - 3 バイオマス資源の利用

第5章 国際的取組

- 第1節 国際的取組の推進
 - 1 国際的な取組と日本の役割
 - 2 生物多様性関連諸条約の実施
 - 3 国際的プログラムの実施
 - 4 開発途上国への支援

第6章 情報整備・技術開発

- 第1節 情報整備・技術開発の推進
 - 1 生物多様性の総合評価
 - 2 調査・情報整備の推進
 - 3 研究・技術開発の推進

第7章 統合的取組

- 第1節 生物多様性の観点から見た地球温暖化の緩和と影響への適応
- 第2節 自然共生社会、循環型社会、低炭素社会の統合的な取組の推進

第8章 東日本大震災からの復興・再生

- 第1節 東日本大震災からの復興・再生